

信州木曾看護専門学校自己評価に対する外部評価委員の意見

1 項目別

(1) 大項目Ⅱ 学校運営

・木曾では、小中学校の教員の確保に苦慮している状況があるようだが、看護専門学校はどうか。

→教員については、機構病院から補充している。公募をしても応募がなく苦慮している。

・学生アンケートの中に「もっと休みがほしい」「無駄な拘束時間が多い」といったものがあるが、どういう状況なのか。

→昨年度までは、国の制度改正により新カリキュラムと旧カリキュラムが同時進行しており、授業編成上、夏休みが短くなるという状況があった。本年度からは全て新カリキュラムになり。この問題は解消されている。「無駄な拘束時間が多い」については、内容がよくわからないが、説明が足りないことも考えられるので、十分な説明、教員間の情報共有に努めたい、

→四年制の大学と違いカリキュラムは厳しいと思うが。省けるところは省いていくことが必要。

(2) 大項目Ⅲ教育活動

- ・チーム医療実現のためにも「人間関係論」は重要。
- ・オンライン診療を始めた病院もあるが、IT教育、AIの活用についてどう考えているか。

→情報科学の授業で、情報をどう使えば安全なのか、情報の怖さといったものを学習してもらっている。

オンライン診療は良いところもあるが、患者が外に出る機会を奪っているという側面もある。必要に応じて使うことが大事と考えている。

AIだけでは、個々の患者にあった看護を考える力が身につかない。AIに自分の考えを上乗せしてゆけば良いが、AI頼みとすると何も考えない看護になってしまう。

(3) 大項目Ⅳ学修成果

- ・国家試験3年連続100%合格は、学校側の努力と、学生が十分な基礎看護力を身に着けた成果だと思う。

(4) 大項目Ⅴ学習支援

- ・卒業後の経験、学び、応用力が人生を左右する。健康で定年近くまで働き

続けるため、離職しないためにも、学校の生活と学びが有意義であることを希望する。

(5) 大項目VI学習環境

- ・熱中症対策は重要。エアコン等整備して欲しい。

(当校では、今夏エアコンの増設工事を予定)

- ・木曾町では、役場の一角を夕方高校生に開放しているので電車の待ち時間等看護学校も利用したらどうか。図書館の利用も良い。

(6) 大項目X社会貢献、地域貢献

- ・地元の木曾病院への就職者が減ってきている。木曾病院へ行く看護師の養成にも力を入れてほしい。

2 その他

- ・同窓会も、オープンキャンパス、国家試験の激励等で学校に協力している。

今後もこのような活動を続けたい。